

五戸町議会第2回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一問 一答	尾形裕之	1. 五戸総合病院の存続について	医師不足で五戸総合病院の存続を不安に思う人がいるが、町長は存続する意思はあるか。
			2. インフルエンザ予防接種助成について	(1) 今現在のインフルエンザ予防接種助成について御説明いただきたい。 (2) なぜ65歳以上の負担が1,800円であるのか、根拠を御説明いただきたい。 (3) 八戸市の65歳以上の負担は1,000円だが、どうお考えか。
			3. プレミアム付商品券について	プレミアム付商品券は町民に根付いてきて好評だが、国民年金のみでくらししている方々は1万円で1万2千円分の商品券よりは直接2千円をもらった方がいいという声を聞く。どうお考えか。
			4. 私有地を流れる水路について	私有地を流れる水路の管理は各所有者がすべきだが、町はこういう方々への行政サービスをどうするか。 また、法定外道路と同様に法定外水路も町の所有だが管理は利用者がすることになっている。この場合、高齢者も多く費用もかなりかかり、利用者も困っている。行政サービスはどうするか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一問 一答	豊田孝夫	1. 五戸町における議会議員選挙の投票率について	<p>五戸町における議会議員選挙について、直前に実施された町議会議員選挙では54.9%と過去最低を記録している。</p> <p>町議会議員選挙のみならず町長選挙、県議会選挙、県知事選挙、国政選挙においても投票率は低下傾向が続いている。地域住民の声を反映させるためにも投票率の向上が必要と考える。</p> <p>ついては次の項目についてお答え願いたい。</p> <p>(1) 前々回の2016年2月実施では67.69%、前回の2020年2月実施では58.5%、今回は54.9%と低下している。その原因としては何が考えられるか。</p> <p>(2) 投票区域の交通手段として巡回バスを運行しているが、バスの利用状況はいかがであったか。昨年の県議会選挙、町長・県知事選挙、今回の町議会選挙での利用者はいかがであったか。</p> <p>(3) 期日前投票所が合計4か所設置されていたが投票者の投票総数に対する割合はいかがであったか。また、全国的に見ると車両を活用して移動投票所を実施している自治体もある。自治体のDX活用も視野に入れるべきではないか。</p> <p>(4) 投票率向上のために何らかの施策が必要と考えるが、どのような施策が考えられるか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 緊急時における避難所開設について	<p>自宅が火事に遭って焼け出されたとか、崖崩れ土砂崩れ等によって住むところが失われた際に、一時的に避難所として提供できるよう集会所や住宅等を整備することが必要と考える。大規模災害のみならず小規模、あるいは個別の案件についても対応が求められる。行政としてどのような対応をすべきか。</p> <p>については次の項目についてお答え願いたい。</p> <p>(1) 火事で自宅が全焼した際に、一時的にでも避難所として使えるように町営住宅の貸出しをすることはできないか。又は、代替施設として空き家バンクの活用は考えられないか。</p> <p>(2) 町営住宅の入居条件にペット同伴（室内飼い）は認められないとのことだが、それはなぜか。</p> <p>(3) 地域住民が安心して日常生活を送るために、不測の事態に対応できるよう施設整備が必要であると考えているが、町の現状はどのようになっているか。また、災害に遭った際に行政手続で必要なことは何か。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	鈴木隆也	1. 優しさあふれる町づくりについて	<p>世界情勢の混迷により物価高が常態化し、町民の皆様の生活を厳しいものにしてている。また、人口減少により町のにぎわいが以前より見られないなど、町に元気がなくなっているように思われる。</p> <p>このように厳しい世相だからこそ、助けを求める人に手を差し伸べる優しさを醸成し、五戸町は優しさあふれる町であると内外に認めてもらうことも、一つの町づくりであると考えます。</p> <p>そこで、次の2点を伺う。</p> <p>(1) 手話言語条例について来年度の取組は。</p> <p>(2) 八戸市では、がんの治療による頭髪の脱毛や乳房の切除など、外見の変化による、心理的負担を抱えている方が前向きに治療に取り組み、また治療前と変わらず日常生活を送ってもらえるよう、医療用ウィグや胸部補正具等の購入費を助成する事業に取り組んでいる。</p> <p>是非、五戸町でもこの事業を見習うべきと思うが所見は。</p>
			2. 産直施設建設計画について	<p>川内地区の県道20号線沿いに建設が計画されている産直施設だが、町民の皆様から多くの興味や不安の声を聞く。</p> <p>そこで次の3点を伺う。</p> <p>(1) 事業の進捗状況とオープンの見通しは。</p> <p>(2) 施設の規模やレイアウトはどこまで形になっているか。</p> <p>(3) 運営主体の選考の推移は。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	川 崎 七 洋	1. 五戸町のふるさと納税の現状について	<p>2008年から開始されたふるさと納税だが、2014年から制度利用者が増え始め、2018年から爆発的に増加。全国のふるさと納税金額を見ると、ほぼ毎年1000億円以上も増加し続ける非常に大きな市場となっている。当然五戸町でも全力で取り組んでいただいているところであるが、その現状と今後について以下のとおりお伺いする。</p> <p>(1) 五戸町のふるさと納税の受入件数及び受入金額や、返礼品の数や種類などの諸情報がどのように推移しているか。過去5年分のデータを御提示いただきたい。</p> <p>(2) 五戸町のふるさと納税はかなり頑張っている印象があるが、過去にどのような分析を行い、どのような施策を展開して、現状の納税額までたどり着いたのか、お答えいただきたい。</p> <p>(3) 他の町村を見ると、五戸の上を行く自治体がある。今後五戸町がそれら自治体の上を行くためにはどのような施策が必要であるとお考えであるか、お答えいただきたい。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			<p>2. 第2期五戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略における「少子化対策」「まちづくり」について</p>	<p>令和2年3月に策定された第2期五戸町人口ビジョン 五戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略について、コロナ禍の収束を迎えた今、改めてお伺いする。</p> <p>(1) 基本目標3（ひと：少子化対策）について、目標値として令和6年度での「合計特殊出生率が1.6」、「年間出生数100人以上」と設定されている。</p> <p>これら目標の令和5年度の実績と、令和6年度の見通しについてお答えいただきたい。</p> <p>またその予測に対し、今後どのような対応を行って目標達成に向かっていく予定か、お答えいただきたい。</p> <p>(2) 同基本目標3内に、「3-6 地域への愛着の醸成」という項目がある。ここについてこれまでどのような施策を展開していたのか。そして今後どのように施策を展開させていく予定か、お答えいただきたい。</p> <p>(3) 基本項目4（まち：住み続けたくなるまちづくり）について、令和6年度までを計画期間とし、「主体的にまちづくりを推進するための場」を「計画期間内に設置」、「団体等の認定」を「計画期間内に5団体」と設定している。</p> <p>これら目標の令和5年度の実績と、令和6年度の見通しについてお答えいただきたい。</p> <p>またその予測に対し、今後どのような対応を行っていく予定か、お答えいただきたい。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
5	一 問 一 答	柏 田 匡 智	五戸町における「農業のまちの振興」について	<p>「農業のまちの振興」において、農家の収入安定を目的とした農業共済組合が事業実施主体となっている「収入保険」への加入促進と、その保険料を一部助成する補助制度創設に向けて取り組んでいる、町独自の農家所得補償制度について質問する。</p> <p>(1) 農業共済組合の「収入保険」の概要について</p> <p>(2) 「収入保険」への加入促進を目的とした、加入要件の青色申告への取組について</p> <p>(3) 町独自の農家所得補償制度として、「収入保険」の保険料補助内容について</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
6	一問 一答	佐々木喜克	1. 特定不妊治療費助成事業についてと今後の支援計画について	<p>平成30年より五戸町特定不妊治療費助成事業が開始されているが、この支援事業について以下のとおりお伺いする。</p> <p>(1) まず、改めてこの事業の概要説明とその支援に至った背景等説明願いたい。</p> <p>(2) これまでの実績の報告を求む。</p> <p>(3) 現在、不妊治療は保険が適用されているが、今後不妊治療への支援や、その他について何か計画はあるか。</p>
			2. 災害時における女性への配慮と乳幼児の備品とローリングストックについて	<p>災害時における備蓄品について伺いたい。昨年の9月に行われた定例会でも同じような質問があり、災害時には食料、飲料水、気温対策、トイレ問題、資機材など対応は非常に多岐にわたると思う。全体のみを目を向けがちだが、あえて今回は女性と乳幼児にのみ焦点を当て、以下の事について伺いたい。</p> <p>(1) 震災直後は、特に他人への配慮等が欠如しやすく女性や子供へのケアが必要と考えるが備蓄品や体制の構築は行っているのか。</p> <p>(2) 五戸町の防災計画で、避難所の指定はあるが、その中で女性専用の区画等の設定はあるのか。</p> <p>(3) 乳幼児では粉ミルクやオムツ、哺乳瓶の消毒剤、離乳食などケアは多岐にわたるが関連の備蓄品はあるのか。</p> <p>(4) 先の能登半島地震では、震災直後から、女性のトイレ問題や、生理用品の不足が問題となっていたが五戸町の対応はいかに。</p> <p>(5) 消費期限のある備蓄品について、その管理などの計画はどうなっているのか、現状と今後の計画を伺いたい。</p>

